

# 日本ウマ科学会 2021年度 第1回常任理事会議事録

日 時：2020年11月6日（金）13：30～14：50

場 所：日本装蹄協会 （JRA 新橋分館 5階第1会議室）

出席者：青木 修 会長

田谷 一善 副会長

和田 信也 副会長

高橋 敏之 庶務担当常任理事

半澤 恵 会計担当常任理事

楠瀬 良 編集担当常任理事

近藤 高志 学術担当常任理事

桑原 正貴 国際担当常任理事

和田 隆一 広報担当常任理事

佐々木 直樹 臨床担当常任理事（オンライン）

小野 圭一 事務局長

議題：

1. 監事監査報告
2. 2021年度 理事会・評議員会・定時総会について
  - ① 2020年度事業報告（案）ならびに収支決算（案）
  - ② 2021年度事業計画（案）ならびに収支予算（案）
3. その他

議事概要：

議題1.

- 11月4日（水）の午前中に日本装蹄協会にて半澤常任理事、岩崎監事、末崎監事による監事監査が行われた。特別な指摘事項はなく、書類は正確に処理され、事業は適切に運営されていると報告された。（庶務担当常任理事が代理で報告）

議題2. ①

- 2020年度の事業報告&収支決算について、2021年1回常任理事会の資料に基づき、「2020年度事業報告（案）ならびに収支決算（案）」が事務局より説明され、原案通り承認された。主な説明点は以下のとおり。

（事業報告）

- 正会員数は年度始 844 名であったが、65 名の入会と 59 名の退会で年度末は 850 名の微増。

(一般会計収支報告・収入)

- 正会員会費収入は国内 830 名と海外 2 名分。
- 賛助会員の会費収入 21 口。1 社は例年 10 月入金だが、年度をまたいで 11 月に入金があったため。
- 広告料が予算額より増。

(一般会計収支報告・支出)

- WEB 開催変更に伴い、ホームページのスマホ対応が遅れたためその支出減。
- 学術集会大会開催費における第 32 回学術集会分は 1758 千円余で予算内であったが、第 33 回の会場キャンセル費用 419 千円余と特設サイト作成費用 603 千円余等により大幅な増。2021 年度予算よりその分は減額。
- 国際会議派遣支援（海外渡航支援）への応募はなし。
- 臨床委員会企画の学術集会特別講演の海外講師の費用については、協賛によって、海外からの渡航費用負担が免除されたため減額。

(認定馬臨床獣医師会計)

- 第 1 回受験者 1 名の入金が遅れたため 2020 年度の収入に計上。
- 事業管理支出の増加は、第 1 回の受験者管理費に加えて、延期となった第 2 回の試験問題作成費用分 63 千円余が発生したため。

## 議題 2. ②

- 2021 年度の事業計画&収支予算について、2021 年 1 回常任理事会の資料に基づき、「2021 年度事業計画（案）ならびに収支予算（案）」が事務局より説明され、原案通り承認された。主な説明点は以下のとおり。

(事業計画)

- 馬用語集の残部数が減少。この対応については後述。

(一般会計収支予算・収入)

- 現在、正会員は 850 名。予算収入としてはその 96%に当たる 816 名分。
- 2021 年度の学術集会参加費収入および企業展示収入はなし。
- 広告料収入については、昨年度の予算額と決算額に隔たりがあるため中間値に設定。

(一般会計収支予算・支出)

- 管理支出の印刷費については、通常総会の資料を印刷しないため減額。
- 昨年度にできなかった HP をスマートフォンに対応したデザインに変更するための費用を広報費に計上。
- 通信連絡費については、年会費等のコンビニ収納を追加し、払込手数料を学会負担に変更したためその経費分増額。
- 大会開催費は、WEB 開催に伴うキャンセル料やホームページ作成費用が昨年支払われているため、学会賞撮影費用と第 34 回学術集会準備費用を計上。
- 国際会議派遣支援（海外渡航支援）については本年度もコロナウイルスの影響

により応募の増加は難しいと思われるが、見通せないため同額予算計上。

- 臨床委員会事業費支出について海外からの講師招聘に伴う費用はなし。通信連絡費のみ計上。

(認定馬臨床獣医師制度会計)

- 受験者数は第1回と同数で算出。
- 会長より独立会計で検定料の運営収入で継続可能か確認。佐々木常任理事より事業管理はおおむね印刷費であり、受験料収入と継続料の収入で賄える方向と説明。

### 議題3.

(馬用語集について)

- 第2回常任理事会(2月予定)までに正確な残部数と、版下が残っているかを確認。楠瀬常任理事より刷新するならば3年は必要。版下があれば不足分のみ印刷の方向。桑原常任理事より用語集は国家試験に対応するように確認、改定する必要性あり。

(第33回学術集会の現況について)

- 学術集会の準備状況の確認が行われ、演題数や特設サイトの進行状況を説明。

(論文の著作権について)

- (一財)学術著作権協会から著作権管理委託契約締結の提案。現在、対象は数件程度。また、JES、Hippophileともに著作権に関する明確な記載がないため、今回は締結せず、楠瀬常任理事を中心に著作権の条項について引き続き検討。

(通常総会の議決について)

- 通常総会の議決方法は、年会費を収めてIDを受け取った方を出席者とみなし、反対意見を述べた方以外は賛同したと判断。議決期間は学術集会公開期間内の一定期間とし、結果はホームページに掲載。

(終了)